

資料7		飯南町総合戦略の施策実施状況報告書(令和2年3月末時点)									
分野		基本方針		基本施策	施策番号		施策の事業名	施策の内容	担当課	実施状況	現状と今後の取組み等
		施策1	結婚への意識を高める	若者の交流の場を広げる	1	【新規】	「若者が考えるこれからの地域づくり会議」(仮称)事業	行政職員、事業者、町民など多様な主体の若者世代が、まちづくりの担い手としての意識を高め、町政に主体的に参画することを目的に、町の課題分析や必要施策の検討、提言を行う「若者が考えるこれからの地域づくり会議」(仮称)を設立・開催する。	地域振興課	実施中	R1年度に全6回の人材育成塾を開催し、受講生は町民及び役場職員あわせて16名となった。 R2年度は全5回の日程で開催予定。
					2	【拡充】	公民館が連携した「若者交流イベント」事業	若者の出会いの機会を拡大することを目的に、「アウトドア」「スポーツ」「料理」などの趣味をテーマにしたイベントを開催する。	住民課	実施中	公民館やマリエ・やしろとの連携による若者交流イベントを実施中。 引き続き、出会い創出のため実施する。
					3	【拡充】	コミュニケーションリーダー育成事業	コミュニケーション能力の向上を促進するリーダー育成、仲人としてのスキルアップを目的に専任講師を招いて研修会、講演会を開催する。	住民課	実施中	男性スキルアップセミナーを年2回開催。 引き続きコミュニケーション能力向上のため継続実施する。
				結婚に対する意識を高める	4	【拡充】	島根県と連携した啓発事業	島根県と連携し、若年層への結婚・妊娠・出産等に関する啓発事業(ライフプラン設計講座等)を行う。	住民課	実施に向け準備中(検討中)	島根県や関係団体と連携し、結婚後のライフプラン(経済的安心感)を提示し、結婚に対する意識向上を醸成する。
		施策2	結婚の希望をかなえる	出会いの機会を創出する	5	【新規】	ご縁の会事業	男女の出会いの機会創出や、コミュニケーション能力の向上を促進する仲人を「ご縁の会」として組織化し、結婚希望者の相談、婚活支援、紹介活動を推進する。	住民課	実施中	ご縁の会では、定例会を月に1回開催し、情報交換を行いながら、随時お引き合わせを行っている。 引き続き「ご縁の会」を推進する。
					6	【新規】	縁結び支援員事業	結婚希望者の相談、婚活支援、紹介活動を専属的に担う縁結び支援員を配置する。	住民課	実施中	縁結び支援員を設置済み。 引き続き支援員を配置する。
					7	【拡充】	姉妹都市、友好都市との交流事業	姉妹都市伊丹市、友好都市大村市との人的交流を推進する。	産業振興課	実施中	・姉妹都市 伊丹市 伊丹緑化フェアへの町内からの出店、小学5年生が伊丹市を訪問するツアー実施した。 ・友好都市 大村市 大村しょうぶ祭り、夏越まつりへ参加交流、冬に大村市の小中学生が飯南町を訪問し交流を行った。
				結婚・出産に関するお祝い金を支給する	8	【新規】	結婚・出産祝い事業	結婚・出産に際して、結婚祝い金、出産祝い金を支給する。	住民課	実施中	引き続き、結婚・出産に対して祝い金を支給する。 令和2年4月より、第2次飯南町総合戦略の目玉施策の一つとして、出産祝金の制度を拡充している。
				女性が自分らしく輝け	9	【新規】	子育て協力企業支援事業	企業等と連携した仕事と子育ての両立支援の推進を目指し、育休制度などを工夫して子育てをバックアップする町内企業に対して助成などの支援を行う。	住民課	実施中	子育て協力企業認定により、子育てしやすい環境が生まれてきている。引き続き事業を推進する。

資料7		飯南町総合戦略の施策実施状況報告書(令和2年3月末時点)									
分野		基本方針		基本施策	施策番号		施策の事業名	施策の内容	担当課	実施状況	現状と今後の取組み等
政策1	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	施策	女性の 出産・ 子育て	る環境づくり	10	【拡充】	イクメン育成事業	父親による絵本・紙芝居の読み聞かせ、子育て参加意識向上の研修を行う。	住民課	実施中	各保育所では、絵本の無料貸し出しを行っている。 今後は、父親の育児参加についての啓発をより強化していく。
				子どもを産み育てるサポート体制の充実	11	【新規】	乳児保育拡充事業	産後57日以降の乳児受け入れを実現するため、保育士等の確保及び施設の整備を行う。	住民課	未実施	保育士の確保ができなかったため、R2年度に保育士を確保し事業実施を目指す。
					12	【拡充】	緊急搬送体制充実事業	産婦人科のある病院(県中央病院、医大、三次中央病院等)と町内医療機関の連携を強化し、緊急搬送体制の充実を図る。	飯南病院	実施中	飯南病院と産婦人科を有する病院が連携し診療にあたっている。 島根大学からの派遣医師による隔週の産婦人科外来を実施している。
					13	【拡充】	不妊治療支援事業	現在、県内でもトップクラスである充実した一般・不妊治療費の助成を継続して行う。	保健福祉課	実施中	一般治療3名、特定治療3名(重複あり)。 夫婦の経済的支援と子育て希望をかなえるため、引き続き不妊治療支援を行っていく。
					14	【検討】	小児診療拡充事業	島根大学医学部付属病院からの派遣医師により行っている週2回の小児診療を維持するとともに、総合医の充実により、小児科を含め幅広い診療への対応を図る。	飯南病院	実施中	島根大学からの派遣医師による週2回の小児診療を行っている。 総合医が小児科を含めた幅広い診療に対応している。
					15	【検討】	病児保育充実事業	病児保育の推進に向けて、施設型・訪問型など飯南町に適したあり方を検討する。	住民課	実施に向け準備中 (検討中)	乳児保育を先行して体制整備を行っている。 現在、実施に向けて必要保育士等の確保について協議を進めている。
					16	【新規】	子育て支援体制強化事業	子育てに関わる社協・保育所、子育て支援センター、教育委員会などが連携して事業を行えるよう体制づくりを行う。	住民課	実施中	社会福祉協議会・住民課・地域振興課・教育委員会など様々なセクションで子育てについて体制を整えている。
				17	【新規】	3世代家族支援事業	住宅整備助成金事業の適用枠拡大などにより、3世代家族に対する優遇制度を構築する。	建設課	実施中	住宅リフォーム助成事業を実施中。 通常の助成金(下水道接続工事)に加え、三世代が居住するための部屋の改築等も対象とすることで、子育て世代の定住を図る。 (R元年実績1件)	
				18	【拡充】	ほっと。Cafe事業	子育て支援センターの実施する「ほっと。Cafe」を中心に、保健師、助産師による相談、指導体制を充実する。	住民課	実施中	子育てををするお母さんたちに交流する場を設けるため、毎週1回開催している。 引き続き事業を推進する	

資料7				飯南町総合戦略の施策実施状況報告書(令和2年3月末時点)							
分野		基本方針		基本施策	施策番号		施策の事業名	施策の内容	担当課	実施状況	現状と今後の取組み等
		3	の希望をかなえる	家庭・地域で子育てできる環境づくり	19	【拡充】	ファミリーサポートセンター事業	子どもの見守りの場の充実を目的に、ファミリーサポートセンターを充実する。	住民課	実施中	育児の援助を行いたい者と育児の援助を受けたい者を会員として組織し、育児を受けたい者を支援するため、ファミリーサポートセンター事業を引き続き事業を推進する。 R1利用実績:5人(延べ:11人)
					20	【拡充】	夏休み居場所づくり事業	小学校長期休業中に労働等により保護者が昼間家庭にいない児童の居場所づくりを行う。	教育委員会	実施中	定期的に保護者のニーズを調査しながら、制度の拡充に努める。
					21	【拡充】	放課後居場所づくり事業	小学生の放課後居場所づくりの支援を充実する。(放課後子ども教室)	教育委員会	実施中	今後も「放課後子ども教室」を実施し、定期的に保護者のニーズを調査しながら、制度の拡充に努める。
					22	【検討】	子どもの遊び場事業	既存の公園、遊具等の利用ニーズを調査し、新規公園・遊具等の配置を含めた検討を行う。	住民課	実施に向け準備中(検討中)	既存の公園を中心に、利用者ニーズの調査を行う。 調査結果により公園のあり方を定める。
				保育士の確保対策	23	【新規】	保育士確保対策助成金	町内に勤務する保育士を確保し、保育環境及び子育て支援の充実を図る。	住民課	実施中	R1年度実績「医療及び福祉従事者確保対策助成金」 修学助成1名、「医療及び福祉従事者確保対策就業支度金」 就業助成1名に支給。 助成金の受給者1名が、保育士として社協に採用されており、R2年4月1日から勤務している。
					24	【新規】	保育士短期インターンシップ助成	保育士養成学校に通う学生を対象として職場体験ツアーを実施し、町の魅力を発信しつつ町内保育所への就職を促す。	住民課	実施中	地域振興課と連携し、学校訪問を行い、助成事業及び就活ツアーの周知を行った。
				子育て世帯への経済的支援	25	【新規】	子ども3人以上家庭応援事業	多子世帯の経済的な負担を軽減するため、こども3人以上家庭を対象としてプレミアム商品券、クーポン券などを発行する。第3子以降の子育て世帯に対し、給付金を交付することで保護者の経済的負担の軽減を図る。	住民課	実施中	子育て支援プレミアム商品券はH27年度に実施済み。 給付金は平成28年度から実施しており、引き続き事業を継続する。 (※令和2年4月より制度を改正)
					26	【拡充】	就学支援事業	小学校、中学校における就学援助(支援)制度を拡充する。	教育委員会	実施中	今後も状況に応じて必要な支援を検討し、制度の拡充に努める。
					27	【拡充】	子ども医療費無料化事業	子どもに関わる医療費を中学卒業まで無料化する。	保健福祉課	実施中	中学校卒業までの医療無料化を引き続き継続する。 島根県が小学校卒業までの医療費無料に拡大するタイミングで、高校生の無料化を検討する。

資料7				飯南町総合戦略の施策実施状況報告書(令和2年3月末時点)						
分野		基本方針		基本施策	施策番号	施策の事業名	施策の内容	担当課	実施状況	現状と今後の取組み等
					28	【拡充】保育料軽減事業	保育料を国基準の半額、第2子半額免除、第3子全額免除とする。	住民課	実施中	令和元年10月より国の制度を拡充し、町内で保育所に通所しているすべての家庭について無償化を行った。
		施策1	地域魅力の発掘・発信	地域資源の掘り起こし・PR	29	【新規】飯南農業魅力発信事業	安全・安心な農畜産物、「健康(まめ)・豆」な農産物の生産地としてのPRを行う。	産業振興課	実施中	安心・安全な農産物として、エコロジー米を中心にトマト、パプリカ等の販売促進を行っている。
					30	【新規】飯南魅力発信体制強化事業	飯南町の魅力を分野横断的に発信するための体制「(一社)飯南町観光協会」を外部専門家、企業団体、町民有志により組織する。	産業振興課	実施中	飯南町観光協会において、町内の旬な情報(イベント、新商品開発)や四季の移り変わりなど、町内の情報を一元的に情報発信している。引き続き推進する。
					31	【拡充】ふるさと納税充実事業	飯南町の魅力発信や地場産業の発展として効果的なふるさと納税の充実・魅力化を図る。	地域振興課	実施中	3年連続で寄附額が増額しており、令和元年度は1億5千万円を超えた。引き続きリピーターを増やせるよう取り組んでいく。
					32	【拡充】『さとやまにあ』充実事業	『さとやまにあ』を中心にSNS等と連動して、森林セラピーをはじめ、レジャー、農業体験など、飯南町での遊び方、イベント情報等を発信する。	産業振興課	実施中	R元年度の観光情報ホームページ閲覧数182,537PV(対前年-29,239)、FBいいね1,477(対前年+198)、instagramフォロー1,376(対前年+44)
					33	【拡充】R54魅力発信事業	「人でつくなく国道54号」をコンセプトにした国道54号活性化アクションプラン推進協議会の活動や、様々な団体による取組みを繋ぐとともに、国道54号の魅力発信を継続的に支援する。	地域振興課	実施中	町内のイベントを繋ぎ合わせるHPの作成、地域の住民と他団体と協働して実施したダムイルミやスノーキャンドル等町内のヒト・モノ・コトを繋ぎ合わせ、飯南町の魅力を町外に発信しながら、地域の活性化に取組む団体等を支援する取組みもすすめている。道の駅頓原周辺の魅力化を具体的に検討していく。
					34	【新規】「ふるさとだより」事業	飯南町出身者に、町内の情報をリアルタイムに発信する「ふるさとだより」を整備し、双方向に情報交換できる仕組みづくりを構築する。	地域振興課	事業凍結	メールマガジン配信は停止した。より効果が高く、時代に即したSNS、コミュニティサイト等の活用に移行する。
					35	【新規】UIターンの魅力発掘事業	UIターン者が飯南町を選んだ理由を調査・取材し、パンフレットやHPへの掲載を通じてPRする。	地域振興課	実施中	定住HPを運営中。パンフ等の制作は検討中。中山間センターが行った若者定住要因調査で、本町は地域活動等の満足度が高く、買い物の利便性が低いという結果が出ている。HP、パンフ等の内容に今後反映する。
					36	【新規】飯南子育て情報発信事業	1ヵ月検診、予防接種、ほっとカフェなど飯南町で子育て環境の魅力を、施策の紹介と合わせて子育て家庭へのインタビューなどを通じて発信する。	保健福祉課	実施中	保育所入所児、小中学生、高校生の保護者に対して、母子保健だよりを年3回発行し情報発信した。

資料7		飯南町総合戦略の施策実施状況報告書(令和2年3月末時点)								
分野		基本方針		基本施策	施策番号	施策の事業名	施策の内容	担当課	実施状況	現状と今後の取組み等
政策2	飯南町への新しいひと			UIターンの推進に向けた情報発信	37	【拡充】ハローワーク活用事業	ハローワークでの求人情報のオンライン提供を活用し、地域求人情報を発信する。	地域振興課	実施中	ハローワークインターネットサービスを利用し、求職者、求人情報のマッチングを行いながら定住ホームページで定期的に町内求人情報を発信している。
					38	【拡充】雲南雇用対策協議会活動事業	ハローワーク等の関連機関や近隣市町との情報共有や業務連携を図り、圏域一体で地域の魅力アップを図る。	地域振興課	実施中	情報交換会、勉強会を実施し、相互のスキルアップを図っている。
					39	【新規】求人情報魅力化事業	あふれかえる求人情報の中から町内の求人情報に注目してもらうため、町内企業を対象とした研修の実施や、求人情報作成の支援をする。	地域振興課	実施中	町内企業を対象に人材確保セミナーを開催し、求人票作成のコツなどの研修を行っている。
					40	【拡充】首都圏への情報発信事業	首都圏でのUIターンフェア、しまね留学ツアーなどを通じて、地域求人情報を発信する。	地域振興課	実施中	首都圏及び関西圏での移住フェアに年間10回程度参加し、情報を発信するとともに、相談に応じている。
					41	【新規】人材輩出機関情報提供事業	「人材確保支援センター」を設置し、県内外の大学等に対し、町内の求人情報や企業情報を提供する。	地域振興課	実施中	県内外の学校を訪問し、町内の求人情報や企業情報を提供するとともに就職先の傾向などの情報収集も行っている。
					42	【拡充】飯南町無料職業紹介所拡大事業	町広報誌やハローワーク窓口を利用して周知し、利用者の拡大を図り、町内求人 の充足を図る。	地域振興課	実施中	近年の人手不足を背景に本事業の周知と拡充を進め、広報誌を通じ求人情報を提供する。
	飯南町への新しいひと	施策	飯南ファン、	地域資源を活かした集客・交流事業の支援	43	【新規】三十路式事業	UIターンを考える世代(25～35歳)を対象とした交流会を開催する。	地域振興課	実施中	30歳を対象とした交流会を毎年実施。実行委員で運営する形式をとり、企画から運営までその世代が担って取り組んでいる。R1は参加率47%。(台風なければ53%)R2はコロナの状況を見ながら実施を検討。参加者にはUターンを促す説明、資料配布を行っている。
					44	【新規】飯南まるごと体験事業	地域資源を活用した体験型ツアー(農業体験等)の企画・実施により町外からの誘客を図るとともに、地域住民のレクリエーションの場の充実を図る。	産業振興課	実施中	観光協会により体験型のツアーを造成し、20企画を販売した。
					45	【拡充】森林セラピー魅力化事業	多様な主体の連携による森林セラピー事業の魅力化を推進する。	産業振興課	実施中	観光協会によりセラピーツアー造成し販売。セラピーの魅力を向上させるため、関連商品としてシャワークライミングプログラムの実施も始めた。地域おこし協力隊による町民セラピーの推進を行った。

資料7		飯南町総合戦略の施策実施状況報告書(令和2年3月末時点)								
分野	基本方針		基本施策	施策番号		施策の事業名	施策の内容	担当課	実施状況	現状と今後の取り組み等
この流れをつくる	2	の拡大	中山間地域の魅力を深く学ぶ場の創出	46	【新規】	島根大学連携事業	離島・中山間魅力化事業をモデルとして、島根大学・海士町と連携し、教育を通じて飯南町で活躍できる人材を育成する。	教育委員会	実施中	飯南町での実習等は終了したが、引き続き島根大学との連携により、教育や産業など、様々な分野で活躍できる人材の育成に取り組む。
				47	【拡充】	中山間地域で活躍する人材育成事業	地域づくり事業が活発な谷笑楽校等の地域活性化の取り組みを学び、地域で活躍する人材を育成する講座を開催する。	地域振興課	実施中	R1年度に全6回の人材育成塾を開催し、受講生は町民及び役場職員あわせて16名となった。 R2年度は全5回の日程で開催予定。
				48	【拡充】	中山間地域研究センターとの連携事業	中山間地域研究センターの協働により、人材育成講座、商品開発などの展開を検討する。	産業振興課	実施中	クロモジやクコを資源とした事業、商品開発の連携を実施。
			UIターンの受け入れ体制の充実	49	【新規】	飯南民泊推進事業	飯南のありのままの生活を体験でき、地域での受入意識を高める民泊を推進する。	地域振興課	実施中	民泊開業助成は実績2件。(小立神、小田中西邸)また今後、頓原2件、角井1件の開業予定がある。
				50	【拡充】	飯南くらし相談員事業	定住支援センターを移住・定住の総合窓口として、飯南町での暮らしに関わる医療、職業、住環境、悩み相談などの世話役を担う専属の定住相談員を増員する。	地域振興課	実施中	定住担当をH29から1名増員。 定住推進員としての会計年度任用職員1名を含め、5名体制としている。
				51	【拡充】	地域おこし協力隊受け入れ事業	地域おこし協力隊の制度を活用し、地域づくりを志す若者の受け入れを積極的に行う。	地域振興課	実施中	4月から新たに2名の新規隊員を迎え、計6名が現役で活動中。さらに1名を募集中。
				52	【検討】	高度技術者確保事業	高度な技術者の任期付職員採用を検討する。	総務課	実施中	定住促進対策、人材確保の支援などに任期付採用職員を採用し、飯南町への移住希望者の相談、仕事の確保などに成果を上げている。
			UIターンに関する経	53	【新規】	UIターン者受け入れ推進事業	各集落でUターン予備軍を抽出し、Uターン者を迎え入れた集落に対して奨励金を交付する。	地域振興課	実施中	集落にUターン支援金を交付する要項を整備している。 R1年度実績0件。今後は、制度の見直しも検討しながら、引き続き集落の取り組みを支援する。
				54	【新規】	新社会人応援事業	地元企業に就職する学卒者の奨学金返還を減免する制度を創設する。	教育委員会	未実施	地元企業等に必要な人材の確保に向けて、給付型奨学金制度の新設等も含めて検討する。

資料7				飯南町総合戦略の施策実施状況報告書(令和2年3月末時点)							
分野		基本方針		基本施策	施策番号		施策の事業名	施策の内容	担当課	実施状況	現状と今後の取組み等
		施策3	定住の促進	経済的支援	55	【新規】	通勤助成事業	町内へUターンし町外へ通勤する者に対して通勤費を一部助成する。	地域振興課	実施中	毎年4名程度が活用している。
					56	【拡充】	新卒採用応援事業	町内企業が新卒者を採用することに関する助成制度を拡充する。	産業振興課	実施中	R1年度、人材確保対策支援事業補助金として、有料人材紹介手数料など人材を確保するために必要な経費の一部を助成する制度を創設。
				住環境の整備	57	【拡充】	定住促進賃貸住宅事業	40歳以下の夫婦を対象に、セミオーダー方式で希望にそって一戸建て賃貸住宅を建設し、25年居住後に土地建物の所有権を譲渡する。	地域振興課	実施中	毎年2～4軒を建築。 累計25棟を整備しており、約100名が入居中。
					58	【拡充】	住宅整備助成金事業	飯南町内で、住宅を新築・増築・購入する場合、借入金利子額の一部(上限50万円)を助成する。	地域振興課	実施中	毎年1～3件程度を交付している。
					59	【拡充】	用地確保・造成事業	定住促進住宅整備地の用地確保・造成を行う。	地域振興課	実施中	住宅建設の候補地となる町有地は少なくなってきているため、 今後は民地の買収をすすめ、用地を確保していく。
					60	【検討】	遊休定住住宅活用事業	クラインガルテンや定住促進賃貸住宅の空き部屋をモデルルームや週・月単位での利用ができるよう整備し、お試し住居を推進する。	地域振興課	未実施	クラインガルテンとは別に「お試し暮らし住宅」を整備している。 クラインガルテンには空き部屋はない状況となっている。
					61	【検討】	都市部からの高齢者受入事業「日本版CCRC」	姉妹都市等都市部からの高齢者の移住受け入れに向けて、健康状態の応じたケア環境の整備と、地域への定着が実現するプログラムを含めた仕組みの検討を行う。志津見地区の滞在型市民農園「クラインガルテン」の方式を参考にする。	企画財政課 地域振興課	未実施	【企画財政課】 高齢者移住に向けて、町内外の資源(住宅・医療・交通・観光・仕事など)の把握、取りまとめを行い日本版CCRCの導入について検討する。 【地域振興課】 現在の定住対策にて効果が表れており、まずは効果が出ている施策を中心に受入対策を行う考えである。高齢者受け入れは、小さな拠点対策や集落実態調査を踏まえて高齢者が移住しやすい体制等を検討する。
		新規就農者の確保・育成	62	【新規】	園芸リースハウス事業	新規就農者の初期設備投資を軽減する「園芸リースハウス制度」を創設する。	産業振興課	実施中	H27から事業開始 現在まで、35棟(108a)を整備 令和2年度は、5棟(19.6a)【上来島団地・トマト】、R3年度 4棟(3.2a)【野萱団地・トマト】、4棟(3.2a)【獅子団地・トマト、パプリカ】に整備予定		
			63	【拡充】	農業定住研修生事業	農業を志す飯南町への定住希望者を「農業定住研修生」として受け入れる。	産業振興課	実施中	2年目研修生と1年目研修生が つかか農園 にて研修中。 両名ともR3に新規就農者となる予定 今後は、就農相談や、飯南町の産業体験を通じて研修生の確保に繋げていく。 現在産業体験者は0名		

資料7				飯南町総合戦略の施策実施状況報告書(令和2年3月末時点)								
分野		基本方針		基本施策	施策番号		施策の事業名	施策の内容	担当課	実施状況	現状と今後の取組み等	
		施策1	夢と希望の持てる飯南農業の実現	経営の安定化	64	【新規】	循環型農業推進事業	カントリーエレベーター、木質バイオマスセンター等を活用し、循環型農業を確立・推進し、飯南米のブランド化を図る。	産業振興課	実施中	堆肥センターの土間修繕を行い、さらに良質堆肥が製造されるようになり利用も増えてきている。 エコロジーマ(低農薬・低肥料で栽培)の作付比率は目標の80%に対し、R元年で51%となっている。 「いいなん米」のブランド化には、作付比率の向上により、消費者等に安全安心を広くPRすることが重要である。 そのために、今後も飯南版の栽培ごよみの確立等、環境に優しい農業を推進していく。 木質バイオマスセンターについて休止状態であるが、早期再稼働に向けて協議を進める。	
					65	【新規】	飯南きのこ生産拡大事業	きのこ生産施設のリニューアルにより、特用林産物の生産能力の向上をめざし、「飯南きのこ」のブランド化を図る。	産業振興課	実施中	生産施設の人員不足が解消できないが、生産量は前年並みを維持し、売り上げも横ばいで推移している。 令和元年度は、三次のいまるシェで定期的に「きのこ」の日を設け、三次飲食店への販売にもつながっている。	
					66	【拡充】	農業法人設立支援事業	地域の担い手となって農地を守り、また、雇用の受け皿となる農業法人等の設立を促進する。	産業振興課	実施中	H31年4月 2社設立 R2年3月 2社設立 引き続き農業法人の設立を支援し、併せて担い手育成に努める。	
					67	【拡充】	畜産業再生事業	畜産総合センターの活用により畜産業の再生を図る。	産業振興課	実施中	畜産総合センターを、キャトルステーションとして活用しており、令和元年度は受精卵産子51頭を含む75頭の利用があった。 特に受精卵産子の保留により島根の特色ある血統構築を図り、今後の島根和牛の再生につなげていく。	
					68	【新規】	飯南ブランド構築事業	農林業を中心に飯南町ブランド化を図り、飯南町オリジナル商品の開発・PRを行う。ブランド化、商品開発にあたっては特任機関を設置し、外部講師を招聘する。	産業振興課	実施中	出雲大社神楽殿の大しめ縄架け替えをきっかけに、H30年より「出雲国お福米」の販売を開始し、関東地方を中心に米と雑貨を販売する「AKOMETA」と連携しPR強化を図っている。 R元年10月には他産地との新米を食べ比べる新米フェアに参加し、試食販売を行った。	
				観光消費額を高める商品開発	69	【拡充】	ガイド育成事業	観光協会によるガイド育成、各種体験プログラムの整備。	産業振興課	実施中	R元年度のセラピーガイド養成については、平成29・30年度に養成講座を受講した者の中から正規ガイドへのレベルアップを支援し、新たに1名がガイドとなった。 シャワークライミングもガイド養成を行い、新規ガイドが2名登録された。	
					70	【拡充】	サイクリングロード整備事業	国道54号のサイクリングロード整備やサイクリングに特化した道路を整備し、観光誘客を推進する。	産業振興課	実施中	R元年度は例年と同様に国道54号を活用した、クライムライド、グルメライドを実施した。 ヒルクライムは悪天候のため中止となった。 また、観光協会により、自転車を活用したミニサイクリングを6回実施した。	
					71	【拡充】	広域連携(観光)事業	雲南圏域、三瓶山圏域など、広域的な連携による観光振興の取組みを充実する。	産業振興課	実施中	うなん観光ネットワーク協議会、三瓶山広域ツーリズム協議会の一員として連携し、広域観光の振興を継続している。 雲南圏域での取組みとしては、日本遺産を活かしつつ、インバウンド対策を実施し、三瓶エリアでは、国立公園満喫プロジェクト、全国植樹祭を見据え、情報発信に力を入れている。 グランピングも取り入れ誘客に努めている。	

資料7				飯南町総合戦略の施策実施状況報告書(令和2年3月末時点)							
分野		基本方針		基本施策	施策番号		施策の事業名	施策の内容	担当課	実施状況	現状と今後の取り組み等
政策3	飯南町でいきいき暮らせる「じい」と「こ」をつくる	施策2	観光関連産業の拡大		72	【拡充】	海外観光客誘客事業	日本酒、ウエディング、スキーなどの資源を活かした外国人観光客の誘客事業を継続・拡大する。	産業振興課	実施中	観光協会、うんなん観光ネットワークによる台湾・韓国を中心としたPRを行っている。 R元年7月以降、日韓関係悪化とコロナの影響で誘客数は減少したが、来年度以降の誘客のため三瓶山広域ツーリズム振興協議会及びうんなん観光ネットワークと共同で、台湾に向けて自然(国立公園三瓶山・雪)と文化(神楽・神話・しめ縄)を中心に、情報発信を継続する。 日本文化しめ縄・日本酒、りんご、雪(スキー・雪遊び)・台湾人によるウエディングフォト(自然豊かな地方での撮影)を軸に、外国人観光客の誘客事業を継続・拡大する
					73	【拡充】	宿泊観光商品開発事業	宿泊付き観光商品の開発・販売を行う。	産業振興課	実施中	町内宿泊施設(4箇所)と森林セラピーを組み合わせた「宿泊セットプラン」を販売しており、年々申込者数は増加傾向である。 だが、森林セラピーフィールドに立地的に近い、「森のホテルもりのす」への宿泊が大半のため、それ以外の施設へも泊まりやすくする方法やニーズについて整理する必要がある。
					74	【拡充】	合宿受け入れ推進事業	スキー場や体育施設等を活用して合宿の受け入れを推進する。	産業振興課	実施中	スキー場を利用した修学旅行等の利用推進については、スキー場指定管理者により、九州方面を中心に営業活動を実施している。 暖冬、雪不足のため、他のスキー場で受け入れられなかった修学旅行客を受け入れる事例があった。 県内、また広島県北地域においてもスキー場の数が減少しつつあるため、こうした客の取り込みを目標に営業、広報活動を行いたいと考えている。 また、暖冬傾向が続いており、スキー場の入込み数も減少しているが、いつでも滑ることができるスキー場を最大限にPRし、県内外の団体客の獲得に力を入れたい。 友好交流都市の長崎県大村市との交流によるスキー場利用を更に発展させ、修学旅行等を誘致したい。
					75	【検討】	宿泊魅力向上事業	宿泊滞在者の増加を目的に、宿泊施設の整備等の検討を行う。	産業振興課	実施中	R元年度に観光宿泊施設の利用状況調査を実施した。 R2年度では、その結果をもとに今後の施設整備について検討を行う。
			若者の起業、就業支援	76	【新規】	ビジネスコンテスト事業	地域資源、遊休資源などを活用した新商品、新産業の創出を行う個人又は中小企業等に対して補助金を交付する。次世代を担う若年層の起業や学生を対象としたビジネスコンテストなど実施する。	産業振興課	実施中	ここ数年は、移住に伴う起業がなかったが、R元年度は東京から移住者した方の起業があった。 本コンテストにも優秀賞という評価を得て、起業後の定着につながる事業となっている。 また、ネットを活用した応募が2件あり、光回線整備の効果もみられた。	
		77		【新規】	遊休施設活用事業	遊休公共施設を活用した創業を支援する。	産業振興課	実施中	遊休施設となっているキノコ生産施設を活用し、ワサビ栽培研究が開始されている。		
		78		【拡充】	町内企業支援事業	町内の企業支援を目的に、相談会の充実、ビジネスマッチングの機会創出の取り組みを行う。	産業振興課	実施中	町単独事業や県のアドバイザーを有効に活用し、専門家による相談や取引先の紹介など、ビジネスマッチングの機会を創出した。		
		79		【拡充】	後継者確保事業	地域おこし協力隊等の配置により、第2創業、後継者の育成・確保を推進する。	産業振興課	実施中	後継者を求めている事業者に対して、事業引継ぎ支援センターや県事業承継コーディネイターを紹介し、相談、助言を受けながら後継者確保支援を行っている。 現在の経営状況や事業内容の紹介資料など後継者候補者を受け入れるための体制づくりを行っている。		

資料7				飯南町総合戦略の施策実施状況報告書(令和2年3月末時点)										
分野		基本方針		基本施策	施策番号		施策の事業名	施策の内容	担当課	実施状況	現状と今後の取り組み等			
		施策3	「しごと」場の維持・創出	里山の暮らしを守る仕事づくり	80	【拡充】	生活支援充実事業	除雪、草刈、消防など、地域生活に関わる細やかな仕事を担う団体を育成し、継続的な地域生活が行える仕組みを構築する。	地域振興課	実施中	H30年度から始まった集落実態調査を実施した自治区ごとに地域課題解決に向けた取り組みが徐々に始まりだしている。 赤名地区においてはサロンの立ち上げやスノーレンジャーなどの取り組みが始まっている。			
					81	【新規】	「森林」を活かした地方創生事業	森林資源を活用し事業化するために民間企業と連携して計画策定、事業化の推進、人材育成を進める。	企画財政課 産業振興課	実施中	【企画財政課】 町内外企業のヒアリングを行い、飯南町における地域商社設立の基本設計を行った。 今後は、基本設計に基づき、地域商社の設立と、関係企業団体等との連携による木材活用促進を行う。 林業担い手確保のため、飯南高校生を中心にした林業魅力化のクラブ活動を引き続き実施する。 【産業振興課】 企画財政課と連携し、林業魅力化プロジェクトを立ち上げ、林業の魅力化について推進中。 また、森林経営管理法もスタートし、森林環境譲与税の活用等、モデル地区選定の洗い出しを行った。			
				多様な就労環境の創出	82	【新規】	人材不足業種就労支援事業	人材が不足している業種(建設業・福祉関係等)への就業を目指す学生への助成金を給付する。また町内で建設業・福祉関係等の人材不足業種に就職する者への支度金を給付する。	地域振興課	実施中	医療・介護人材には支度金制度を設置している。 今後は、他の職種を含めた給付型の奨学金制度を検討する。			
					83	【拡充】	企業誘致推進事業	飯南町の資源を活用した企業の誘致、創業を推進する。	産業振興課	実施に向け準備中(検討中)	チャレンジオフィス事業として、R2年度からスタートした。 この事業は、町内の地域資源を活用して事業化を図る町外事業者にはオフィスを貸し出し、地域資源や町内企業との連携を促しつつ事業化につなげる狙いがある。 事業が実現すれば、町内における工場建設など、企業誘致へとつながることを期待している。			
					84	【検討】	ワーキングシェア事業	子育て世代の女性やリタイア後の雇用創出を目的として、町内企業の連携により、ワーキングシェアリングの推進に向けた短時間勤務、住宅勤務、副業などの実現可能性について検討する。	地域振興課	実施に向け準備中(検討中)	今後、企業の状況を調査し、実現可能かを検討する。			
					85	【検討】	公共サービス民営化事業	行政業務のアウトソーシング化による雇用拡大、行財政の効率化を目的に、公共サービスの民営化に関する提案募集制度を構築する。	総務課	実施に向け準備中(検討中)	R2年4月から「ふるさと納税」に関する業務を観光協会にアウトソーシングし、納税額の向上やふるさと納税の質の向上を図る予定。			
					86	【拡充】	医師確保事業	島根県から飯南病院へ配属していただく医師は、現員数以上を要望するとともに、独自の募集も継続する。また、県内外の大学との連携により医療・福祉・介護職の人材を確保する。	飯南病院	実施中	人材確保について実施中、引き続き取り組む。 協力施設として初期臨床研修医の研修受入を行っている。 医療を学ぶ学生の実習受入を積極的に行っている。			
					87	【拡充】	医療・介護人材育成事業	医師・看護師・歯科衛生士・介護士・保健師・薬剤師など医療・介護従事者を目指す学生への助成金を給付する。また町内で看護師・介護士として就職する者への支度金を給付する。	保健福祉課	実施中	R1 医歯科学生2名、看護学生7名、歯科衛生士1名、介護福祉士1名に助成、卒業者看護師6名中5名就職(うち1名自己都合退職)、介護福祉士1名中1名就職、薬剤師1名中1名就職。 支度金:看護師1名、介護福祉士1名。			

資料7		飯南町総合戦略の施策実施状況報告書(令和2年3月末時点)									
分野		基本方針		基本施策	施策番号		施策の事業名	施策の内容	担当課	実施状況	現状と今後の取り組み等
		施策1	安心して長生きできる環境づくり	医療・福祉・介護人材の確保	88	【拡充】	総合医研修受入事業	総合医の研修受入を推進する。	飯南病院	実施中	総合診療に係る専門医研修プログラムの協力施設として、研修医の受け入れを行っている。
					89	【拡充】	若手医師研修事業	経験の浅い医師が行う臨床研修の継続を要望する。	飯南病院	実施中	県内の病院等と連携し、引き続き推進していく。
					90	【拡充】	医療人材適正配置事業	医師・看護職員の事務作業補助者を効率的に配置する。	飯南病院	実施中	医師・看護職員の事務作業補助者として、医療クラークを配置している。 看護業務については看護助手を配置している。
					91	【検討】	医療・介護人材確保事業(見直し案)	町内の福祉施設協議会(福祉施設の経営者等参画)に対し、人材確保・人材育成にかかる事業費の助成を行う	保健福祉課	実施に向け準備中(検討中)	
				地域医療の充実	92	【拡充】	地域包括ケアシステム構築事業	保健、医療、介護・福祉の各サービスを一体的に提供する地域包括ケアの充実を目的に設置した飯南町版地域包括ケアシステム「地域包括ケア推進局」の活動継続・拡充、地域包括ケア体制の構築・拡充を行う。	保健福祉課	実施中	推進局としての事業展開(住民啓発、医療介護連携、人材育成等) 保健医療福祉分野だけではなく、産業、教育、生活基盤の確保など、最期まで飯南町に住み続けることができるまちづくりに取り組む。
					93	【拡充】	訪問看護充実事業	家庭での生活を希望する高齢者や疾病のある方などのニーズへの対応として、訪問看護の充実を図る。	飯南病院	実施中	町内に唯一の事業所であり、訪問リハビリとともに実施を維持していく。
				特色あるキャリア教育の推進	94	【新規】	教え合い学び合い事業(異校種異年齢交流事業)	コミュニケーション能力の向上、学年の枠を超えたつながりの構築に向けて、上級生が下級生を教え合うプログラムを整備する。	教育委員会	実施中	プログラムとしては整備できていないが、保小交流、小中交流、小中交流や校内の交流事業は実施している。 引き続き、より良い交流事業のあり方について検討しながら、実施する。
					95	【新規】	飯南仕事体験事業	子ども、学生時代からの勤労観の育成、地元企業の理解促進、多世代とのコミュニケーション促進、起業精神の育成を目的に、町ぐるみで職場体験・インターシップを充実する。	教育委員会	実施中	中学生の職場体験事業と高校生のインターンシップ事業の連携を図り、地元企業や本町の産業への理解を深める機会を増やし、引き続き将来の担い手育成に取り組む。
					96	【拡充】	国際人育成事業	国際的に活躍できる人材の育成を目指し、英語をはじめとした外国語教育に注力するとともに、ICT教育の充実を図る。	教育委員会	実施に向け準備中(検討中)	R2年度より、飯南町みらい人材育成基金を活用し、青少年を海外語学研修へ派遣する。 小学校の外国語教科化(5・6年生)に伴い、外部講師を招聘し、指導者の研修会を行う。

資料7		飯南町総合戦略の施策実施状況報告書(令和2年3月末時点)								
分野	基本方針		基本施策	施策番号		施策の事業名	施策の内容	担当課	実施状況	現状と今後の取組み等
政策4	安心・快適に暮らせる「まち」をつくる	施策2	田舎だからこそキラリと輝ける教育環境づくり	97	【拡充】	飯南高校魅力化事業	飯南高校魅力事業を拡充し、生徒募集、生命地域学など特色ある教育を推進する。	地域振興課	実施中	R2年3月現在で生徒数174人となり、KPI未達成。ただし、過去5年間平均は189人と目標を超える。 今後、減少傾向にある町内中学に対する広報活動に注力するとともに、県外中学生にたいしても飯南高校ならではの魅力を発信していく。 また、学習指導要領改訂に向け、生命地域学をはじめ特色ある教育の見直しを図り、生徒の主体性向上につなげる。
				98	【拡充】	飯南町学習支援館事業	学外での学習環境の充実に向けた公営塾の体制強化、充実を図る。	教育委員会	実施中	小学生を対象とした講座の拡充や、中高生講座の内容の検討・再構築を行いながら、引き続き事業を推進する。
				99	【新規】	飯南の思い出づくり事業(教育魅力化事業)	飯南の資源を活かして、町内・町外の人々と町内の子どもの多様な交流、体験機会を創出する。町外在住者児童を町内に招き、将来的な定住に向けた取組みを行う。(教育移住)	教育委員会	実施中	飯南町の豊かな地域資源を活用した教育に引き続き取り組むとともに、移住・定住希望者へのPRを強化し、保育所や小中学校からの教育移住を推進する。 子育て世帯の移住・定住希望者に対し、定住担当と連携して、町内教育機関の視察の機会やIターン世帯との意見交換機会の創出に取り組む。
				100	【拡充】	スクールサポーター事業	特別支援教育に係るスクールサポーターを配置する。	教育委員会	実施中	児童生徒や学校の状況に応じて、特別支援教育サポーターを配置し、児童生徒の学習や学校生活の支援を行う。
			「小さな拠点」の形成	101	【拡充】	協働のまちづくり推進事業	公民館区単位での多世代交流・多機能型拠点を形成し、協働のまちづくりを推進する。	地域振興課	実施中	H30より「小さな拠点」の形成を推し進めるため、地域課題の抽出等を目的とした集落実態調査を実施しており、住民主体の地域づくりを支援している。
				102	【拡充】	次世代を担う人材育成事業	自立的・持続的な地域社会形成のため、公民館を中心とした社会教育活動を推進し、次世代を担う人材を育成する。	教育委員会	実施中	地域課題解決のための講座等を開催し、引き続き、町の将来を担う人材の育成に取り組む。
				103	【拡充】	道の駅機能強化事業	町内に2施設ある道の駅について、地域防災や地域情報発信など、複合的機能を備えた施設として整備する。	産業振興課	実施中	道の駅は、観光のみでなく、防災・福祉機能を有する施設として第3ステージをむかえている。 国交省にて両道の駅に自家発電設備が整備され、また、赤来高原は授乳室の設置も行い、防災インフラや福祉を含む公共サービスの提供などを強化をしていく。
				104	【拡充】	冬季宿泊施設事業	高齢者の安全・安心な生活支援を目的に、冬季高齢者宿泊施設の運営を継続して行う。小さな拠点と連携し「冬季の住まい」を検討する。	保健福祉課	実施中	R元年度の実績が6人。 冬期間の降雪によって自宅での生活が困難な方が利用する事業であり、降雪量が少ないと自宅での生活に支障がないため、事業利用者が少なくなる。 半面、降雪量が多いと利用希望者が多くなり、1か所では不足する。 小さな拠点との連携等を考えると拠点ごとに(もしくは合同で)整備することの検討が必要。
				105	【新規】	インターネット環境充実事業	インターネット環境整備による教育・医療・介護などへの活用、地域魅力の向上、ICT企業誘致を目的に、CATV超高速情報通信網を整備する。	総務課	実施に向け準備中(検討中)	R2年4月から整備されたネット環境を活用し、チャレンジオフィスで起業する事業者を募集する予定。 新型コロナウイルス対策として、庁舎内のオンライン会議などが開催できるよう検討中。
			施策3	不便を感じない生活基盤の整備						

資料7				飯南町総合戦略の施策実施状況報告書(令和2年3月末時点)							
分野		基本方針		基本施策	施策番号		施策の事業名	施策の内容	担当課	実施状況	現状と今後の取組み等
				生活インフラの維持・改善	106	【新規】	生活交通のあり方検討事業	条件不利地域(無店舗・高齢化の高い地域)に対する買い物・移動支援の観点を含めた町民の移動手段の確保を目的に、町営バス運行見直しのための調査・検討等を行う。	地域振興課 住民課	実施中	【地域振興課】 ローソンボプラの移動販売を支援している。R2年度で支援制度が終了するため、今後の支援について検討する。 R2年度中に赤来高原道の駅を拠点とした自動運転長期実証実験を実施する予定。 【住民課】 今年度第2次飯南町地域公共交通計画を策定予定であり、住民へのアンケートや関係者へのヒアリングを実施する。
					107	【新規】	公共交通等優待乗車券販売事業	運転免許証を持たない高齢者や障がい者等に対し、公共交通(生活路線バス・デマンドバス)や町内民間タクシーで使用可能な優遇乗車券を販売し、利用者の移動手段の選択肢を広げることで移動手段を確保する。	住民課 保健福祉課	実施中	運転免許証を持たない者を助成対象者とし、町内でのタクシー利用に対し、運賃の半額を助成する。
					108	【新規】	運転免許返納者支援事業	運転免許返納者に対し優待乗車券等の支援を行うことで、返納者の公共交通等の利用促進や福祉の向上を図る。	住民課 保健福祉課	実施中	R2年4月1日以降に運転免許証を自主返納した者を助成対象者とし、町内でのタクシー利用に対し、優待乗車券20,000円分を助成する。
					109	【検討】	飯南町へのアクセス整備事業	経由地ではなく目的地としての魅力向上を目的に、尾道松江線高野ICからのアクセス道整備や松江-飯南間のバス運行に関する調査・検討を行う。	住民課	実施中	R2年度第2次飯南町地域公共交通計画を策定予定であり、住民へのアンケートや関係者へのヒアリングを実施する。